



# 爽 緑

銚子市立明神小学校学校便り  
VOL.16 令和5年11月14日

令和5年度 学校教育目標 「心豊かに自律できる子どもの育成」 ～かしこく やさしく たくましい 明神っ子～  
『学校は子どもにとってワクワク・ドキドキできる場所』

## 市内親善体育大会

11月10日（金）に延期となっていた「銚子市内小学校親善体育大会」が千葉県総合スポーツセンター東総運動場にて行われました。

9月から約2か月間、4、5、6年生の希望者が、それぞれの目標に向かって練習に励み、選手に選ばれた児童は、大会で自分の持てる力を精一杯発揮しました。また、競技の最後に行われた駅伝（800m×6人のリレー）では、昨年惜しくも優勝を逃した悔しさをばねに、最後まであきらめることなく襷をつなぎ、見事な優勝を果たしました。

今回の陸上部の取組をとおして、私は明神小学校の子供たちを誇りに感じています。それは、結果ではなく、子供たちの練習や大会での立ち振る舞い、態度や考え方が素晴らしいと感じているからです。今年も、競技開始の前にテント付近において、JRCの誓いを堂々で行い、周辺の学校から称賛の拍手が湧き上がっていました。また、どの競技においても名前を呼ばれたり、確認をされたりしたときに、明神小の子供たちは、みんな「はい！」という大きな声で返事をしていました。これらは普段の生活や練習中から、大切にしているものです。大きな舞台でも自分たちが大切にしてきたことや考え方がぶれることなく、しっかりと行動できる子供たちを頼もしく感じました。

そして、2か月間の練習を支えてきた職員も、常に子供たちの成長を願いながら指導をしてきました。放課後になれば、全職員がグラウンドに出て子供たちの指導やサポートにあたりました。職員室に戻ってくると「〇〇さんの記録が最初の頃より8秒も速くなりました！」や「体力づくりで参加している4年生の子供たちへ、もっと練習メニューを工夫してあげたい。」「上手にできなくて悩んでいる子を、一番大切に指導していきたい。」といった会話がされていました。このような考え方で、子供たちに向き合っている明神小の職員を誇りに思っています。

今回、駅伝の部で優勝することができたのも、児童、職員、そして子供たちをいつも励まし、支えてくださっている保護者の皆さん、すべての力が結集した結果だと感じています。子供たちには、陸上部の取組で感じたこと、学んだことを今後の学習や生活に生かして行ってほしいと思います。

### 〈大会結果〉

・5年女子 100m	6位	大割 彩花さん
・6年女子 100m	3位	永井 羽虹さん
・6年男子 100m	2位	遠藤 琥生さん
	4位	時友 幸久さん
・共通女子 走り幅跳び	1位	飯森 怜緒菜さん
	4位	荒木 菜月美さん
・共通女子 ソフトボール投げ	4位	村井 心音さん
	5位	石井 優虹さん

